

2024年度 自己評価

2024年度 テーマ

『さあ、漕ぎ出そう、奏でよう』

- ①子どもも保育者もわくわくする遊びの充実をめざして
- ②園や地域の個々の家庭と、心通い合う繋がりをめざして
- ③学び続け、刺激し合える保育チームをめざして

以下の項目ごとに4段階

A・・・よく出来た

B・・・まあまあ出来た

C・・・あまり出来なかった

D・・・まったく出来なかった

●総合評価●

2024年度のテーマ 『さあ、漕ぎ出そう、奏でよう』

①子どもも保育者もわくわくする遊びの充実をめざして

◎子どもの”やってみたい”遊びを大切にする保育

自主活動の時間を十分にとり、自然物や廃材を子どもたちと一緒に集め、すぐ手の届く所に配置して、子どもが主体的に遊べるように保育の環境を整えた。また、一人ひとりの子どもたちがどんな遊びに興味を持っているのかをよく観察し、クラスの枠に捉われることなく、それぞれの保育者が得意分野を生かしながら関わり、子どもたちと一緒にわくわくしながら遊ぶことができた。さらに子どもたちが、様々な遊びを通して習得した技や作品をみんなの前で発表する機会を設けたことで、子どもたちの「やりたい」気持ちが深まり、継続して楽しむことができた。遊びを通して培われた経験が子どもたちの意欲や自信に繋がり、運動会や劇ごっこ等の活動にも活かすことができた。今後も子どもたちの好奇心や発見を大切にし、大人がつくり込む環境や管理された安全の中では得られない体験や様々な挑戦ができるようにしていきたい。

②園や地域の個々の家庭と心通い合う繋がりをめざして

◎保護者とのより良い関係を築くために

個々の保護者の思いに寄り添い、園の方針や考えを丁寧に伝えることを意識してきた。日々の何気ない会話をするなかで担任以外の保育者にも不安や悩み等も自然に話してくれるようになり、子どもたちの成長と一緒に喜び合うことができた。今後も個々の家庭の置かれている状況を理解し、相手の立場にたって考えながらコミュニケーションをとるよう努めていきたい。全てのご家庭に伝達事項が早く、確実に届くように写真や動画配信、登降園管理アプリ等のICTも積極的に取り入れていきたい。

今年度のマンホール探しや皿回しの活動のように園だけでなく、保護者も巻き込んでみんなで育て合える環境と関係を大切にしていきたい。

③学び続け、刺激し合える保育チームをめざして

◎園内研修を活かして

1年を通してクラスも年齢も違う4つの小グループに分かれ「あそび」をテーマに園内研修を行った。この研修も4年目になり、互いの個性を尊重し合いながら活発に意見や知恵を出し合い、子どもたちのあそびの充実をはかることができた。外部の研修も含めた様々な学びが、子どもたちの遊びの充実に関わり、ひとつの遊びを広げたり深めたりしていくことができた。保育をしながら考えたことや心を動かされた小さな出来事を毎月記録し、保育者間で共有した「エピソード記録」もひとりひとりの子ども理解に繋げることができた。今年度は、3学期に乳児クラスとの交わりを通して保育者も子どもたちも互いに刺激を受け成長を感じることが出来た。安全に配慮しながら園全体が、ひとつの家族として自然に交わっていけるよう従来の保育に固執せず、恐れずに新しいことに挑戦していける保育者集団でありたい。

今年度の評価反省を踏まえ、2025年度は以下のテーマと目標のもと、保育を行っていききたい。

2025年度のテーマ 『ともに ～対話と挑戦の中で～』

- ①安心と挑戦が循環する保育
- ②保護者も巻き込んだワクワクした保育
- ③園全体で育ち合える関係性